

J R 東海労働関西地「申」第2号  
2020年7月22日

東海旅客鉄道株式会社  
新幹線鉄道事業本部関西支社  
支社長 畑田 整吾 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部  
執行委員長 小林 國博

J R 東海パッセンジャーズ社員の新型コロナウイルス感染に関する申し入れ

7月17日、新幹線パッセンジャーズサービス（J R C P）の社員から新型コロナウイルスの陽性者が出たと報道がされている。当該社員は7日から研修を行い9日に頭痛と吐き気の症状があり医療機関を受診し「胃腸炎」と診断され、10日、11日と休み12日に回復し新幹線に乗務していたが帰宅後体調不良で15日に医療機関を受診し、16日に陽性と判明した。乗務した列車は「のぞみ84号」と「のぞみ355号」。常時マスク着用でお客様との濃厚接触はしていないと報じられている。

しかし、研修期間中や、乗務日の待機中や折り返しの待機中は多くの関係者と接触をしているものと思われる。また、84A列車は新大阪発6：51で到底当日出勤していると考えにくく、前日から宿泊していると思われる。また、折り返し9355Aは東京駅12：42発で84A到着から3時間30分程待機時間がある。そのように考えると、J R 東海社員の乗務員や当日のクルー等について会社として積極的に情報を共有し、関係すべき施設の消毒や、P C R 検査等について関係保健所等に対して要請を行うべきである。しかし、会社対応は、旅客からの対応マニュアルを社員に指示するだけで、感染予防の観点からの対応が一切なされていない。

よって下記のとおり申し入れるので、早急に団体交渉を開催し、社員の健康管理及び労働環境の整備に努めること。

#### 記

1. 新型コロナウイルスに感染した新幹線パッセンジャーズサービス（J R C P）の当該社員の発症2週間（最大潜伏期間）前からの拘束時間内の行動について明確にすること。

2. 当該社員の行動に基づき、接触した関係社員（J R C P社員及びJ R 東海社員）のP C R検査を実施すること。
3. 感染拡大防止の観点から、乗務員を中心に感染した場合の対策等についてどのように考えているのか明らかにすること。
4. 当該社員が使用した施設等に出入りする全ての社員及び関連会社等に、今事象について明らかにし、体調不良等異常を感じた場合は、ただちに医療機関を受診するよう体制を整えること。また、その場合現場管理者が素人判断することなく、休暇を認める等の勤務手配を行い、結果のみの報告を求めるのに留めること。
5. 社員の安全とお客様等の信頼を維持するために、社内に入る前に、消毒液での殺菌後、非接触体温計で検温を行い37.5度未満であることを確認し入室するようにされたい。

以上